



模試に対する取り組み方

なにかを成し遂げようと思うと、「現在の状態」と「理想の状態」2つを認識する必要があります。

「現在の状態」と「理想の状態」のギャップが「問題」となります。

わたしたちはよく、この2つの事実を曖昧にしたまま漠然と取り組む傾向があります。しかし、このギャップを明確にし、それを克服しなければ目標の達成はありません。目標を達成しようとするならば、まず「現在の状態」と「理想の状態」を明確にする必要があります。

では、君たちにとっての定期考査や模試とは何ですか？

模試は「現在の状態」を知る手立ての1つです。模試が返却されて、得点のみを見て、一喜一憂して終わっていませんか。模試とは自分の現在の状況（現在の自分の位置）を示す鏡です。

では模試において「理想の状態」とは一体何か？それは君たちが考える目標点です。「11月3日の模試で何点を目標にするのか」が明確でないひとは、「理想の状態」が確かでないということ。どれ程「現在の状態」が明らかになっても「理想の状態」が明確でないため、いつまでたっても「問題」は見えてこず、つまりは目標の達成などありえないことになります。

模試を受ける前に必ず目標点を決める必要があります。

* Benesseマナビジョンに今回の目標点入力しましたか？また、校外活動・検定等についてもポートフォリオを活用してください。

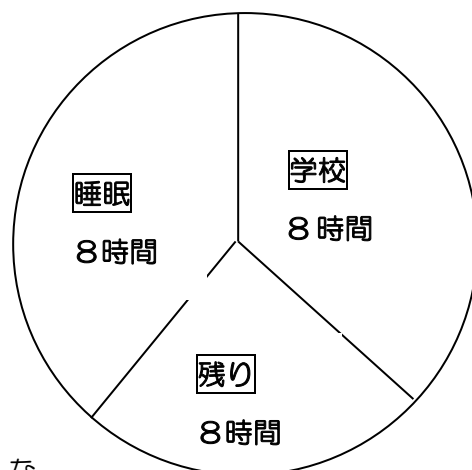
時間の使い方に工夫を

残念ながら私たちには1日24時間しかありません。この24時間をどう上手く使うかで、人生が豊かになるか左右するといつてよいでしょう。

右のように1日の生活を3分割してみると自由に使える時間が8時間と限られていると気づく

でしょう。自分がしなければならない

こと・すべきことを考え時間配分していくと時間の上手な





使い方と生活のリズムも確立するはずです。残りの時間8時間から部活動・通学・食事・入浴・学習（予習・復習）・自由の時間などを差し引いてください。予習・復習の時間は十分に授業に対応できるだけ確保できているでしょうか？ それで不足と考えるならどこかの時間（スマホの使用時間）を削るか睡眠時間を削るしかなくなってきます。まずは、学習時間の確保を第一優先と考えてほしいです。

是非、時間の有効利用を考えてみてください。

学習習慣を振り返ってみよう

	成績上昇者の特徴	成績下降者の特徴
国語	☐ 試験後は間違いを確認し、理解している ☐ 古典の予習では辞書などを使って全文を現代語訳している ☐ 授業中は板書だけでなく、重要だと思ったこともノートにとる	☐ 試験で間違えたところだけを確認している ☐ 予習をしていない ☐ 板書のみをノートにとる
数学	☐ 平日・休日とも、1時間以上自主学習に取り組んでいる ☐ 復習と宿題は必ず行っている ☐ 疑問点は先生や友人に質問して解決している	☐ 自主学習は、平日・休日ともほとんどしていない ☐ 自主学習はしていない ☐ 疑問点があってもそのままにする
英語	☐ 平日・休日とも、1時間以上自主学習に取り組んでいる ☐ 自主学習は宿題と予習中心に取り組んでいる ☐ 予習では新出の単語や熟語を辞書で調べておく	☐ 自主学習は、平日・休日ともほとんどしていない ☐ 試験前の学習のみ行っている ☐ 予習をしていない

☆来週の行事と時間割☆

月水金：昼勉 火木：国語 朝学習

日	曜	行事等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
5	月	新聞局当番校							
6	火								
7	水	旭教大体験学習・薬物乱用防止教室							
8	木	旭川養護学校と交流学習							
9	金								

